



大阪大学 未来基金

www.osaka-u.ac.jp

2011年度 活動報告書

ホームページはこちらから

大阪大学未来基金

検索

www.miraikikin.osaka-u.ac.jp

お問い合わせ：大阪大学 基金事務室

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-1

TEL.06-6879-8327 FAX.06-6879-4337

E-mail: kikin@office.osaka-u.ac.jp



www.osaka-u.ac.jp



総長ご挨拶

地球規模の大きな変化の中、大阪大学が担うべき使命とは。

現在ほど「物事の本質を見極める」ことが求められている時代はありません。日本を襲った未曾有の東日本大震災と原子力発電所の事故、また世界各地で頻発する経済危機や政治の混乱など、今、人類はかつて経験したことがない、地球規模の大きな変化に直面しています。

このような時代の中で、大阪大学は、物事の本質を見極める能力を有し、各方面で指導的立場に立てるグローバル人材を世に送り出すという使命を担っています。また、イノベーションの推進や心豊かで平和な社会の実現は、物事の本質を究める基礎研究の振興なくしてはありえず、大学でしかできない基礎研究や学問に基づいた教育を推進することこそ、社会の発展と福祉への貢献につながるものと考えています。

大阪大学は、社会の期待に応えることができるよう、世界屈指のグローバル大学として22世紀においても輝き続ける基盤を、構成員全員の英知と力を合わせて構築していく考えであります。引き続き、積極的に情報発信をしていきますので大阪大学のホームページ(www.osaka-u.ac.jp)にご注目下さい。

皆さまには、今後なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

未来戦略
8 箇条

大阪大学未来戦略(2012-2015) —22世紀に輝く—

大阪大学は、原点である適塾や精神的源流となっている懷徳堂の精神を後世に引き継ぎながら、世界屈指のグローバル大学として22世紀においても輝き続ける基盤を築いていくため、「未来戦略8箇条」を定めました。

- | | |
|------------|-------------------|
| Strategy 1 | 大阪大学未来戦略機構の創設 |
| Strategy 2 | 本質を究め未来を創造する研究 |
| Strategy 3 | 世界に通用する人を育む教育 |
| Strategy 4 | 世界が大阪大学を目指す国際戦略 |
| Strategy 5 | 豊かな社会を生みだす産学連携 |
| Strategy 6 | 大学と人と地域が交流する社会学連携 |
| Strategy 7 | 質と倫理を兼ね備えた大学病院 |
| Strategy 8 | 教育と研究の基盤を支える大学運営 |

大阪大学未来戦略機構の設立

「未来戦略8箇条」の中心となる施策の一つが「大阪大学未来戦略機構」です。グローバル人材の輩出、基礎研究の推進、若手研究者の育成など、大学全体が取り組むべき戦略的課題に柔軟かつ機動的に対応する部局横断的な組織です。





多くの皆さまのご協力をいただき、
大阪大学未来基金の残高は20億2,983万円となりました。

収入の状況	
目的を指定しない基金	557,050,065円
目的を指定した基金	1,667,693,500円
運用益	8,265,723円
収入合計	2,233,009,288円

※運用は、大学全体の資金と統合して、譲渡性預金や地方債で資金運用を行っています。

基金の創設以来、5,000件を超える寄付をいただきました。また大阪大学後援会の基金との統合、大阪大学会館募金の組入れなど、学内基金の一体管理を推進しています。

支出の状況	
目的を指定しない基金	69,509,653円
目的を指定した基金	133,667,743円
支出合計	203,177,396円

※大阪大学未来基金運営委員会（学外委員を含む）で事業目的、使途等を審議のうえ、支出を決定しています。

基金を活用して、様々な学生支援事業をサポートしているほか（右頁ご参照）、目的指定事業として大阪大学創立80周年記念事業、洪庵生誕200周年記念事業等を実施しました。

残高の状況	
収入合計	2,233,009,288円
支出合計	203,177,396円
残高	2,029,831,892円

資産は、国立大学法人法で運用が認められている有価証券（地方債）のほかは、現預金で保有しております。



阪大生の充実した学生生活の実現のため、
大阪大学未来基金は様々な活動をサポートしています。

目的	事業	サポートの内容
教育	奨学金	成績優秀な80名の学生に奨学金を支給
	図書の充実	学生自身が選んだ本約1,800冊の購入をサポート
	課外活動	体育会系7部・文化系3部の活動に必要な物品等を購入
研究	課外研究	公募から採択された8グループの自主的な研究活動を支援
国際交流	海外留学	117名の学生に対して語学研修等の海外留学を支援
	海外研修	4グループ25名の海外での自主的な研究活動をサポート
社会貢献	マイボトル・キャンペーン	新入生を対象に、環境にやさしいキャンパスづくりへの取組
	研究室開放	学園祭で研究室を開放し、地域の皆様と交流

※詳しい事業の内容は、是非、大阪大学未来基金のHPを参照ください。



大阪大学理事・副学長
（基金室長）

阿部 顕三

グローバルで、未来志向の人材育成のために持続的なご支援を！

平素より、大阪大学未来基金に多大なご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。平成21年5月に設立された大阪大学未来基金は、4年目を迎えております。これまでご支援をいただきました皆さまに、重ねて御礼申し上げます。

大阪大学は、平成23年8月に平野総長を中心とする新たな体制がスタートしました。そして平野総長のリーダーシップのもと、大阪大学が22世紀に輝く大学であるために、「未来戦略8箇条」を定めました。大阪大学が卓越した“学問と教育の府”であり続け、大学でしかできない研究や教育を究め、高い専門性や豊かな教養、そしてグローバルな視点を持つ未来志向の人材を育成するための行動指針として定めたものです。

大阪大学未来基金は、この未来戦略を実現していくための“礎”の一つです。皆さまお一人おひとりのご厚意は、現在の、そして未来の、阪大生や研究者の育成に活用されます。どうか本基金の趣旨をご理解いただき、引き続きご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

なお、口座振替による定期的なご寄付もご利用いただけます。よろしくお願い申し上げます。

大阪大学が、世界の未来をリードする

大阪大学は、幅広い学問領域で、世界に誇る多くの研究成果を産み出してきました。そして、今も、様々な分野で次世代をリードする最先端の研究が行われています。

最先端・次世代研究開発支援プログラム

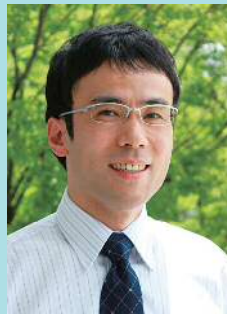


医学系研究科 教授
熊ノ郷 淳

セマフォリンによる細胞移動及び小胞輸送ナビゲーション機構の解明

生体内タンパク質セマフォリンは、免疫細胞の移動や細胞の中の物質輸送をナビゲーションしており、その破綻が自己免疫疾患などの病気の発症に関わっている。この研究は、セマフォリンによって制御される免疫細胞移動と物質輸送ナビゲーションの仕組みを明らかにして、病気の鍵分子であるセマフォリンを標的にした病気の治療法や診断法の開発につなげることを目的としている。研究成果は免疫疾患、癌等の疾患に対する新しい治療法や診断法の開発につながり、ライフ・イノベーションに貢献できると期待される。

Profile 大阪大学医学研究科第3内科博士課程修了。大阪大学医学部付属病院医師、大阪通信病院医師、大阪大学微生物病研究所助手、同分子免疫制御分野助教授を経て、2006年同感染症態分野教授。2011年4月より現職。世界トップレベル研究拠点大阪大学免疫学フロンティア研究センター教授(兼任)。



工学研究科 准教授
木田 敏之

オイル中の有害物質を効率的に完全除去・回収できる革新的植物性吸着剤の開発

過去に多用されたものの、毒性が明らかになって製造や利用が禁じられた化学物質のひとつに、PCBがある。毒性除去処理が難しく、国内で50万トンとも言われる量が、処理技術の確立を待って保管されている。本研究の代表者である木田敏之は、オイル中に混入したPCBを効果的に除去できる植物性吸着剤の開発に世界で初めて成功した。本研究は、この革新的技術をもとに、これまで不可能とされてきた汚染オイル中からの有害物質の完全除去・回収を実現できる吸着剤の設計と開発を目標としている。

Profile 大阪大学工学研究科博士前期課程修了。博士(工学)。大阪大学工学研究科助手、同講師、同助教授を経て2007年より現職。

最先端・次世代研究開発支援プログラム

内閣府、独立行政法人日本学術振興会が、世界をリードする潜在的可能性を持った研究者を支援する制度で、グリーン・イノベーション又はライフ・イノベーションの推進を図ることが目的の一つになっています。このプログラムには、2010年に全国で300名が採択され、大阪大学からは25名が採択されました。

最先端ときめき研究推進事業



人間科学研究科 教授
檜垣 立哉

バイオサイエンスの時代における人間の未来 ～生命科学の進展に応じ新たな人間像を探索～

バイオサイエンスの時代に即した、技術と社会に関する人文知を、哲学・社会学・人類学・ジェンダー論・老年学／死生学・環境論の諸領域を横断しながら探究する。科学技術と人間の関係を問い直し、21世紀的な人文学知として新たな人間像の再構築を目指す。海外研究者約20名を招へいし、講演やセミナーを行うとともに、2012年度からは、ドイツ・ビールフェルト大学での最先端ときめき推進事業と同大学との共催シンポジウム開催や、南京の国際記号学会で日本記号学会と共同で生命記号論に関するセッションを開催するなど、国際的な展開を企てている。

Profile 東京大学人文科学研究科中退。東京大学助手、埼玉大学助教授、大阪大学人間科学研究科助教授を経て、2009年より現職

最先端ときめき研究推進事業

本学が、分野横断的、学際・融合的な基礎・基盤研究(超領域的研究)を推進している若手研究者(満45歳以下)を中心としたグループ研究を支援する制度で、2010年は4件を「ときめき研究アワード」として採択しました。

‘飛翔30’若手プログラム(飛翔研究フェロー)



社会経済研究所 准教授
田中 沙織

時間割引機能の発達とその脳機構の解明

近年、将来の報酬を適切に予測・評価すること(時間割引)と、肥満や多重債務といった社会的問題との関係が経済学の分野で指摘されている。この研究では、時間割引の機能の発達を脳科学の視点から明らかにするために、幼児期および学童期といった異なる年齢層の被験者を対象とした行動実験及び脳機能計測実験を行った。その結果、年齢間で時間割引の機能に差があることを明らかにした。今後は、脳機能の発達過程の解明を目指す。

Profile 大阪大学理学部卒業。奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科修了。博士(理学)。カリフォルニア工科大学研究員、大阪大学社会経済研究所特任准教授を経て、2012年より現職。

‘飛翔30’若手プログラム

特に優秀な若手研究者(満37歳以下)が1人で行う独創的・挑戦的で優れた着想の研究を支援する制度で、2010年に30件を「大阪大学飛翔研究フェロー」として採択しました。

大阪大学未来基金は若手研究者を応援します。

2012年度より、大阪大学未来基金のサポートによる若手研究者支援事業をスタートしました。各研究分野における重要な学会や国際シンポジウム等に参加して、成果発表を行う大学院生の中から選考のうえ顕彰を授与する制度です。本顕彰を受けた学生には、研究者としての視野の拡大を期待するほか、寄付者向け成果発表会などによるアウトリーチ活動も実施する予定です。

無限の可能性に向かってチャレンジ

大阪大学は、夢の実現に向かって進む“阪大生”を応援しています。
大阪大学未来基金の支援事業に参加した学生の“感謝と決意”のメッセージをご覧ください。

交渉術・法的思考能力の取得



交渉学研究会で、生活のあらゆる場面で必要となる交渉スキルと、それを支える法的思考能力の習得に励んでいます。毎年開催される「インターカレッジ・ネゴシエーションコンペティション」は学習成果を競うための実践的な場です。2011年は海外の大学を含めて過去最大の19大学が参加する中、2年連続3位という優秀な成績で入賞を果たす事ができました。

交渉学の世界大会で 2年連続3位入賞の快挙達成。



法学部法学科
藤本 佳隆さん(写真左)
(2009年入学)

藤本さん

コンペティションに向けては、寝る間も削って準備したので辛かったのは事実ですが、それ以上に楽しいと感じられた時間でした。何を学ぶかを自主的に選択する大学という場所で、自分の全力を投入できる対象に出会えた事が本当に嬉しいです。

北本さん

スキルの習得はもちろん、ビジネスの一端で活躍されている方とのつながりや、意識の高い他大学の学生との交流を通じて得られる刺激は何物にも変えがたいです。またそれを大学に支援して貰える事に大変感謝しています。

法学部国際公共政策学科
北本 秀介さん(写真右)
(2009年入学)

グローニンゲン大学短期訪問プログラム

英語力の確かな進歩を実感した 有意義な留学。



外国語学部
松永 将志さん
(2009年入学)

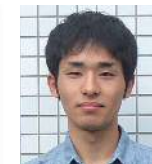


オランダのグローニンゲン大学での英語研修プログラムに参加しました。プログラムはプレゼンテーションやライティングの授業を中心に構成されていました。最初は英語で積極的に発言できなかった参加学生が、最終発表では一人約10分間のプレゼンテーションを堂々とできるま



でになり、英語力の進歩を実感できる留学体験でした。また、英語のスキルアップだけでなく、それ以上にリーダー的な役割を果たす新たな自分を発見することができたことが大きな収穫でした。

国際司法模擬裁判への取組



法学部
田淵 将大さん
(2010年入学)

将来に向け、1年生のうちから本格的な研究を。

国際法学研究会で、国際法模擬裁判(架空の国家間の紛争を題材に学生が原告・被告の代理人として法議論を戦わせるゲーム)への参加を中心に、国際法の研究に取り組んでいます。将来は法律に関する仕事に就きたいと思っているので、1年生のうちから、論理的な思考をもとにしっかりと議論することができる場を得られるのは非常に貴重です。海外の文献含め膨大な資料を準備する必要がありますが、未来基金の助成を受けられたことで安心して活動に取り組むことができました。

パラオ諸島での「海外フィールドスタディ」の参加



人間科学研究科グローバル人間学専攻
(修士課程)
大森 恵実さん
(2011年入学)

改めてコミュニケーションの大切さを実感。

パラオ共和国でタロイモ栽培をテーマに、NPOやNGOが進める人道的な地域開発プロジェクトをサポートするためのスキーム作りに取り組みました。課題の発見やスキームの組み立てには現地の方とのコミュニケーションが欠かせないことを実感するなど、日本には分からなかった貴重な体験を積むことができました。私は、社会人経験を経て大学院に入学しましたが、大阪大学は、自分がやる気にさえなれば、いくらかでも可能性が広がると感じています。



ケニアにおける保健医療を学ぶ

グローバルな視点で医療の現場を知る。

「国際医療」をテーマにアフリカにおけるHIV感染の状況、医療体制などを実地で学び・体験するための研究プログラムを企画しました。現地の医療体制は、日本も見習う点がありましたが、海外からの援助を前提で組み立てられており、援助のパイプが途切れたら、医療体制が崩壊する危険性があります。アフリカ諸国ではHIVは蔓延しており、国家の存亡に影響をもたらしかもしれない大きな課題だと感じました。将来は国際保健医療の道を志したいと思っています。研修の内容はもちろん、現地で医療に携わる日本人にお会いできたことも大変貴重な経験でした。



医学部医学科
甲良 謙伍さん(写真左)
(2008年入学)

医学部医学科
村尾 麻衣さん(写真右)
(2008年入学)

体育会相撲部 初代主将

未来の後輩たちの礎を築く。

大阪大学相撲部は5年前から活動を始め、2011年に体育会の公認団体として登録されました。体育会相撲部としては、私が初代主将となります。公認団体になったこともプラスになり、2011年度は練習用土俵マットの購入で未来基金の援助を受けることができました。これからは、OBの一人として十分に後輩をサポートしていきたいと考えています。学生生活は専門の研究に加えて、念願だったクラブ活動にも打ち込むことができ、大変充実しています。



法学部
藤尾 一成さん
(2008年入学)

学問と教育の世界的拠点を目指して

2011年10月 太陽電池の瞬間的な発電状態の可視化に
世界で初めて成功

▶レーザーエネルギー学研究センター
※大日本スクリーン製造株式会社との共同研究

2011年11月 世界初！小型半導体素子を用いてのテラヘルツ帯
無線通信に成功

▶基礎工学研究科
※ローム株式会社との共同研究

2012年2月 雄性不妊モデルマウスの開発

受精メカニズム解明のみならず、新たな治療診断薬や避妊薬の開発
に繋がる先駆的な研究成果

▶微生物病研究所
※米国科学アカデミー紀要(電子版)に掲載

2012年3月 遺伝的な日光過敏症疾患の原因を解明

紫外線由来シミ・ソバカスの原因(DNA損傷)の修復機構解明
皮膚美白対策への応用に期待

▶生命機能研究科

2012年3月 大阪大学シンポジウム“日本、いまから・ここから…”を開催
大竹文雄社会経済研究所教授、小林傳司コミュニケーションデザ
イン・センター教授、石黒浩基礎工学研究科教授が、震災以降、閉塞
感の漂う日本において、大阪から未来に向けて提言するべく、専門
の研究分野における現状分析を踏まえ講演

2012年3月 難波啓一教授、二井将光名誉教授、坂口志文教授が
日本学士院賞を受賞

難波教授(生命機能研究科)、二井名誉教授、坂口教授(免疫学フロ
ンティア研究センター)が「2012年度 日本学士院賞」を受賞

2012年5月 坂口志文教授が米国科学アカデミー会員に選出

免疫学フロンティア研究センター(IFReC)の坂口志文教授が、2012
年5月1日に米国科学アカデミーの外国人会員に選出



ご寄付をいただいた方への顕彰

□ 感謝状の進呈

ご寄付をいただいた皆さまに感謝の心をこめて、大阪大学総長から感謝状を贈呈します。

□ 寄付者のご芳名

大阪大学のホームページにご芳名を掲載し、永く大阪大学の歴史に刻まさせていただきます。

□ 「大阪大学感謝の集い」へのご招待

一定額以上のご寄付をいただいた方を、大阪大学総長が主宰する意見交換会「大阪大学の感謝の集い」に
ご招待させていただきます。

□ 高額寄付者顕彰プレート

50万円以上のご寄付をいただいた方には、ご芳名をプレートに記し、大阪大学中之島センターに
掲示させていただきます。

ゴールドプレート 500万円以上の寄付者

シルバープレート 100万円以上の寄付者

ブロンズプレート 50万円以上の寄付者

ご寄付の方法

□ ゆうちょ銀行、金融機関からの振込、 クレジットカードでのお支払いをご利用いただけます。

手続きをご希望の方は、大阪大学基金事務室までお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

□ 口座振替による定期的なご寄付を受付けております。 持続的なご支援をお願い致します。

ゆうちょ銀行、全国の金融機関から、毎年1回、定額のご寄付をいただけます。
「預金口座振替依頼書」をご提出いただく必要がございます。基金事務室までお問い合わせをお願いします。

「古本募金」が スタート します。



「古本」が家庭に眠っていませんか？ 不要になった本を社会へ還元させませんか？
大阪大学未来基金では、皆さまが「古本」を売却した代金を大阪大学に寄付いただき、
大阪大学の教育研究に活用させていただく「RE:本プロジェクト(リボーンプロジェクト)」が
スタートします。詳しくは大阪大学未来基金のホームページをご参照ください。